令和８年度ネットリサーチ「犬猫の適正飼養及び飼い主のいない犬猫」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 飼育している犬に実施していることについて、「散歩時のリード着用を徹底している」が 59.0%で最も高く、「狂犬病予防注射を毎年接種している」「犬の登録を行い、鑑札を装着している」がそれぞれ 56.0%と続く。
- 飼育している猫に実施していることについて、「室内で飼養している」が 59.9%で最も高く、「不妊・去勢手術を実施している」が 42.6%と続く。
- 野犬や野良犬については、現在「見かけない」が 85.7%となっている。
- 野良猫については、現在「よく見かける」31.7%、現在「時々見かける」20.2%を合わせた現在【見かける】が 51.9%となっている。

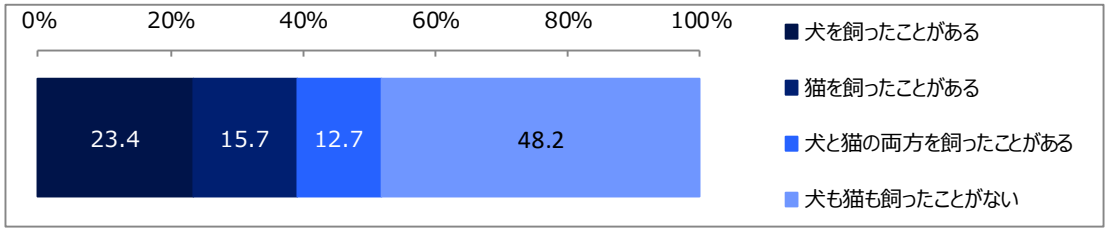
■調査結果の概要

1　犬猫の飼育経験

✧　「犬を飼ったことがある」は 23.4%、「猫を飼ったことがある」は 15.7%、「犬と猫の両方を飼ったことがある」は 12.7%となっている。

Q1.あなたは現在、犬や猫を飼っていますか。または過去に飼っていたことがありますか。次の中から、あてはまるものを１つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
犬を飼ったことがある	23.4	234
猫を飼ったことがある	15.7	157
犬と猫の両方を飼ったことがある	12.7	127
犬も猫も飼ったことがない	48.2	482

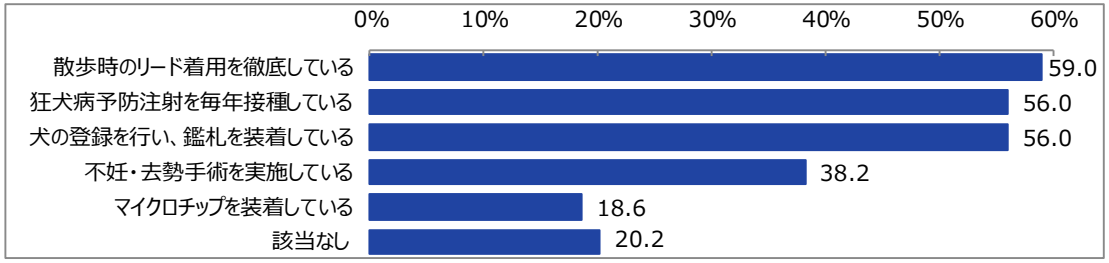


2　飼育している犬に実施していること

✧　「散歩時のリード着用を徹底している」が 59.0%で最も高く、「狂犬病予防注射を毎年接種している」「犬の登録を行い、鑑札を装着している」がそれぞれ 56.0%と続く。

Q2.あなたが飼育している（又は飼育していた）犬について、次のうち実施している（していた）ものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	361
散歩時のリード着用を徹底している	59.0	213
狂犬病予防注射を毎年接種している	56.0	202
犬の登録を行い、鑑札を装着している	56.0	202
不妊・去勢手術を実施している	38.2	138
マイクロチップを装着している	18.6	67
該当なし	20.2	73

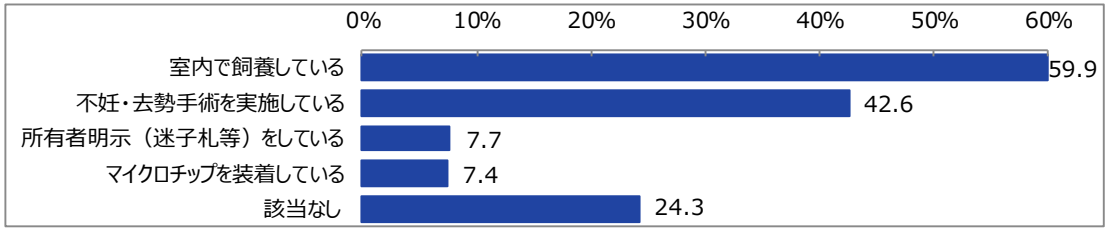


3　飼育している猫に実施していること

✧　「室内で飼養している」が 59.9%で最も高く、「不妊・去勢手術を実施している」が 42.6%と続く。

Q3.あなたが飼育している（又は飼育していた）猫について、次のうち実施している（していた）ものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	284
室内で飼養している	59.9	170
不妊・去勢手術を実施している	42.6	121
所有者明示（迷子札等）をしている	7.7	22
マイクロチップを装着している	7.4	21
該当なし	24.3	69



4　野犬・野良猫の目撃の有無

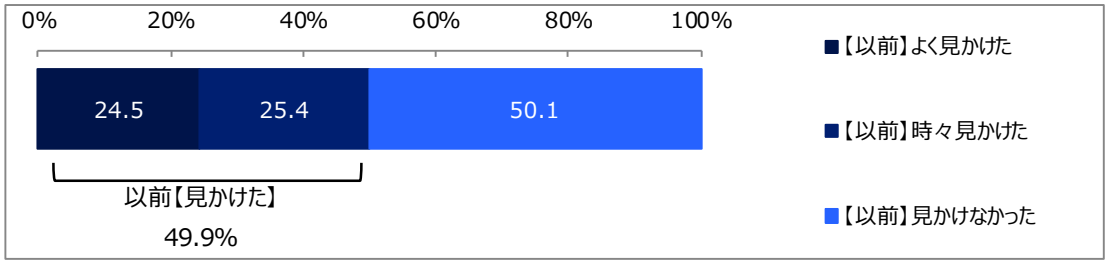
✧　野犬や野良犬については、現在「見かけない」が 85.7%となっている。

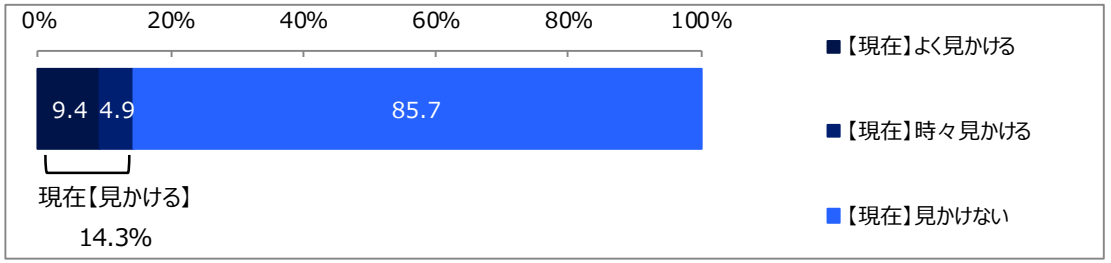
✧　野良猫については、現在「よく見かける」31.7%、現在「時々見かける」20.2%を合わせた現在【見かける】が 51.9%となっている。

Q4.あなたのお住まいの地域で、野犬（野生化した犬）や飼い主のいない犬（野良犬）、飼い主のいない猫（野良猫）を見かけることがありますか。
次の中から、あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。

●野犬（野生化した犬）や飼い主のいない犬（野良犬）

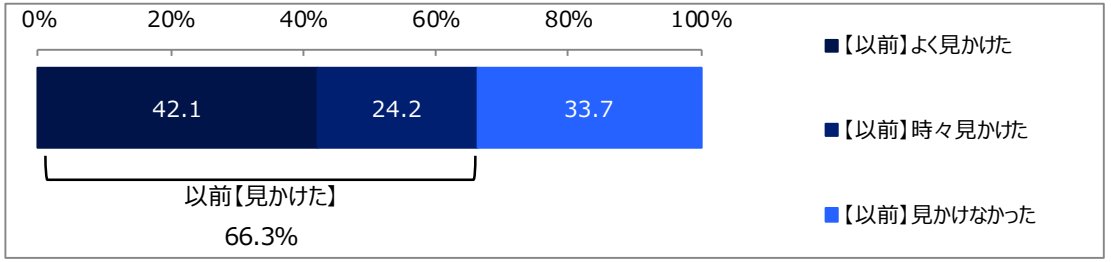
	%	n
全体	100.0	1000
【以前】よく見かけた	24.5	245
【以前】時々見かけた	25.4	254
【以前】見かけなかった	50.1	501
【現在】よく見かける	9.4	94
【現在】時々見かける	4.9	49
【現在】見かけない	85.7	857

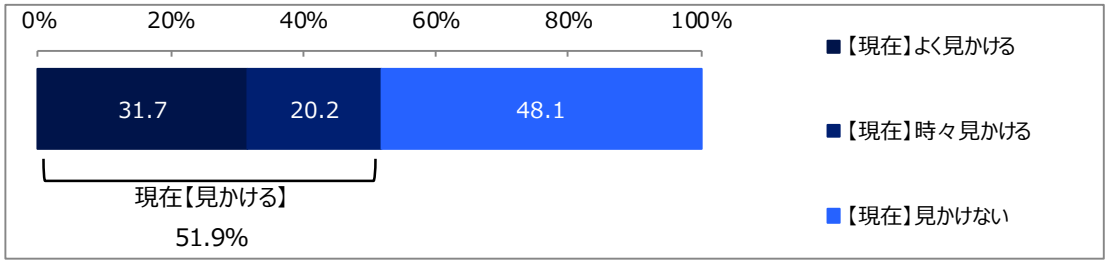




●飼い主のいない猫（野良猫）

	%	n
全体	100.0	1000
【以前】よく見かけた	42.1	421
【以前】時々見かけた	24.2	242
【以前】見かけなかった	33.7	337
【現在】よく見かける	31.7	317
【現在】時々見かける	20.2	202
【現在】見かけない	48.1	481





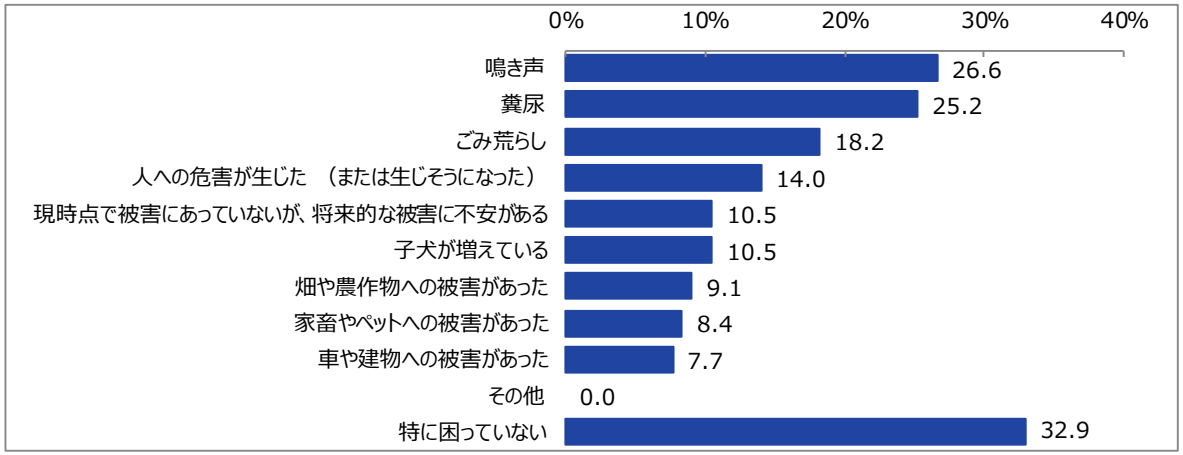
5　野犬に関する困りごと

✧　「特に困っていない」が 32.9%で最も高い。

✧　困りごとのうち、「鳴き声」が 26.6%で最も高く、「糞尿」が 25.2%と続く。

Q5.あなたのお住まいの地域で、野犬（野生化した犬）または野良犬（飼い主のいない犬）に関する困りごとがありますか。当てはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	143
鳴き声	26.6	38
糞尿	25.2	36
ごみ荒らし	18.2	26
人への危害が生じた　（または生じそうになった）	14.0	20
現時点で被害にあっていないが、将来的な被害に不安がある	10.5	15
子犬が増えている	10.5	15
畑や農作物への被害があった	9.1	13
家畜やペットへの被害があった	8.4	12
車や建物への被害があった	7.7	11
その他	0	0
特に困っていない	32.9	47



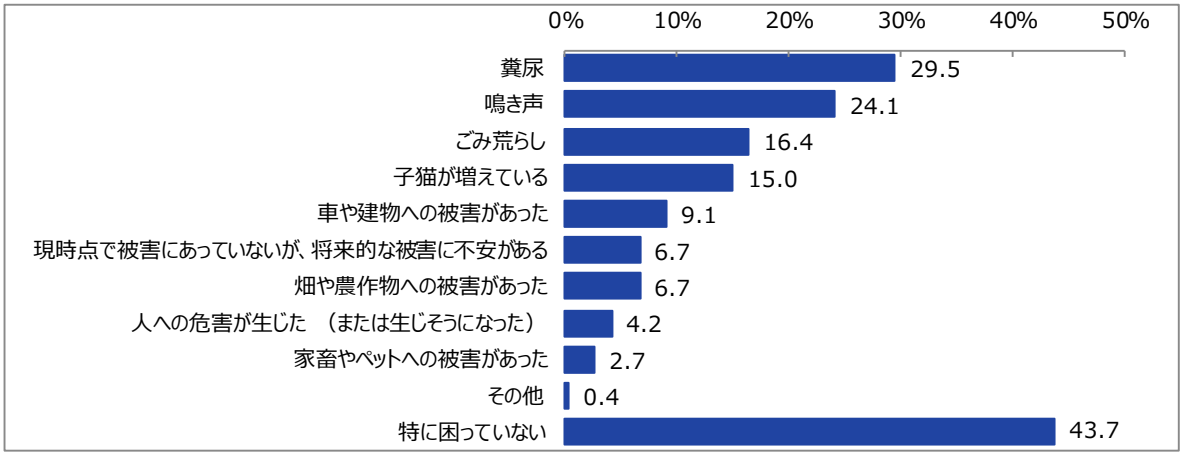
6　野良猫に関する困りごと

✧　「特に困っていない」が 43.7%で最も高い。

✧　困りごとのうち、「糞尿」が 29.5%で最も高く、「鳴き声」が 24.1%と続く。

Q6.あなたのお住まいの地域で、野良猫に関する困りごとがありますか。当てはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	519
糞尿	29.5	153
鳴き声	24.1	125
ごみ荒らし	16.4	85
子猫が増えている	15.0	78
車や建物への被害があった	9.1	47
現時点で被害にあっていないが、将来的な被害に不安がある	6.7	35
畑や農作物への被害があった	6.7	35
人への危害が生じた　（または生じそうになった）	4.2	22
家畜やペットへの被害があった	2.7	14
その他	0.4	2
特に困っていない	43.7	227

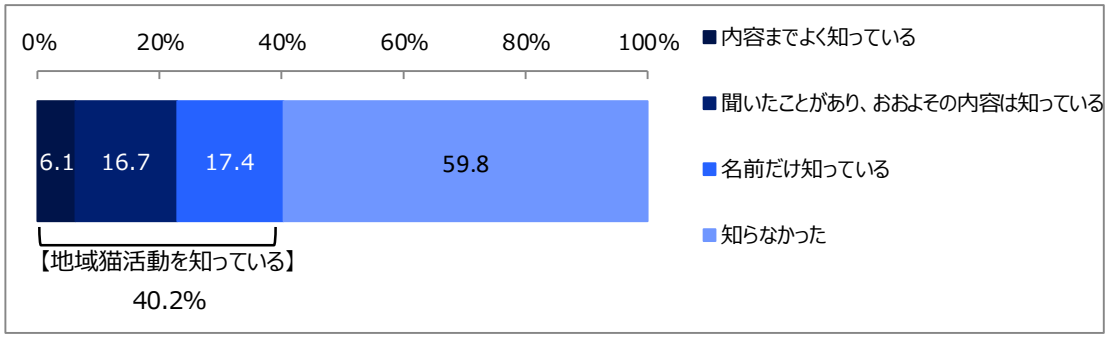


7　地域猫活動の認知度

✧　「内容までよく知っている」(6.1%)、「聞いたことがあり、おおよその内容は知っている」(16.7%)、「名前だけ知っている」(17.4%) を合わせた【地域猫活動を知っている】は 40.2%となっている。

Q7.あなたは、「地域猫活動（飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施し、周辺美化などのルールに従い、地域住民が飼養管理する活動）」について知っていますか。
次の中から、あてはまるものを１つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
内容までよく知っている	6.1	61
聞いたことがあり、おおよその内容は知っている	16.7	167
名前だけ知っている	17.4	174
知らなかった	59.8	598



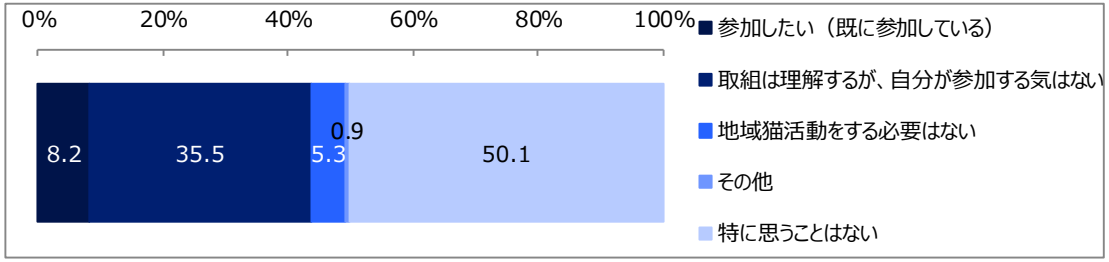
8　地域猫活動への参加意欲

✧　「特に思うことはない」が 50.1%で最も高い。

✧　「参加したい（既に参加している）」は 8.2%となっている。

Q8.あなたは地域猫活動についてどのように考えますか。次の中から、自分の考えに一番近いものを１つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
参加したい（既に参加している）	8.2	82
取組は理解するが、自分が参加する気はない	35.5	355
地域猫活動をする必要はない	5.3	53
その他	0.9	9
特に思うことはない	50.1	501

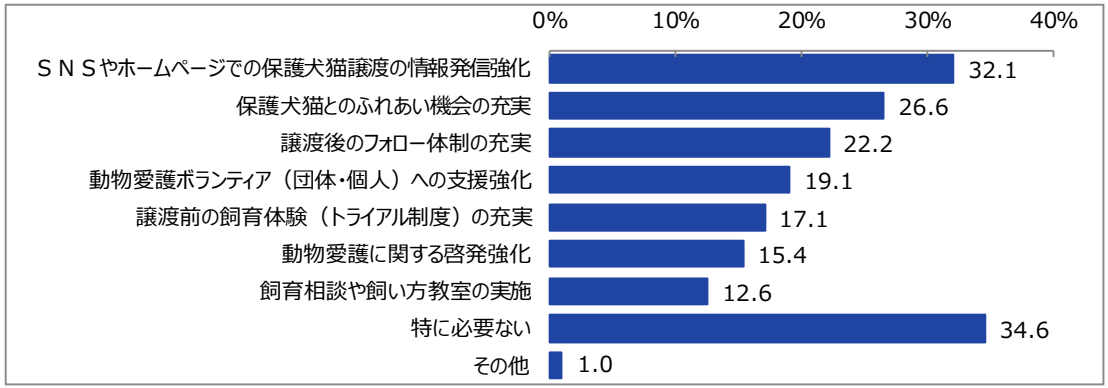


9　犬猫の譲渡推進のため必要な取組

✧　取組のうち、「ＳＮＳやホームページでの保護犬猫譲渡の情報発信強化」が 32.1%で最も高く、「保護犬猫とのふれあい機会の充実」が 26.6%と続く。

Q9.動物指導センターに保護された犬や猫の譲渡を進めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまるものを３つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	361
ＳＮＳやホームページでの保護犬猫譲渡の情報発信強化	32.1	321
保護犬猫とのふれあい機会の充実	26.6	266
譲渡後のフォロー体制の充実	22.2	222
動物愛護ボランティア（団体・個人）への支援強化	19.1	191
譲渡前の飼育体験（トライアル制度）の充実	17.1	171
動物愛護に関する啓発強化	15.4	154
飼育相談や飼い方教室の実施	12.6	126
特に必要ない	34.6	346
その他	1.0	10



■調査の目的

茨城県では、2016 年に「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」を制定し、犬猫の収容頭数や、殺処分頭数を減らすため、動物愛護に係る啓発活動や、動物愛護に係る課題に取り組む市町村や団体等への支援など、各種動物愛護管理施策を実施してきました。その結果、2021 年度以降、犬猫の殺処分ゼロ（収容中死亡や、水戸市動物愛護センターでの収容時重度負傷による安楽死処分を除く）を達成、継続してきました。また、条例制定以前と比べ県動物指導センターへの犬猫収容頭数が半分以上減少する（2016 年度：3,900 頭　2023 年度：1,578 頭）など、成果を上げています。

一方で、今後も殺処分ゼロを継続し、県動物指導センターへの収容頭数を減少させていくためには、更なる動物愛護管理施策の推進が不可欠です。

本アンケートは、本県が行う動物愛護管理施策をより一層充実させるため、県民の皆様における犬猫の飼養状況や適正飼養に対する意識、飼い主のいない犬猫の目撃状況や困りごと、地域猫活動に対する認知度・考え方などを把握し、今後の動物愛護管理施策の検討資料とすることを目的に実施しました。

※「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」や茨城県の動物愛護に関する取組について、詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

〈茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例〉

https://www.pref.ibaraki.jp/somu/somu/hosei/cont/reiki_int/reiki_honbun/o400RG00001972.html

〈県の動物愛護に関する取組等〉

・県生活衛生課動物愛護グループ HP

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiei/kankyo/animal.html

・県動物指導センターHP

https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/hokenfukushi/doshise/

■実施概要

・実 施 期 間：令和 8 年 9 月 11 日～9 月 24 日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和 7 年 10 月 1 日現在）に基づく性別・年代・居住地（5 地域）の割合で割り付けた 18 歳以上の県民 1,000 サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		109	247	93	363	188	1,000
性別	男性	56	128	50	187	100	521
	女性	53	119	43	176	88	479
年代別	18～29 歳	17	43	16	72	35	183
	30 歳代	15	41	16	61	29	162
	40 歳代	21	52	19	78	39	209
	50 歳代	28	61	22	85	45	241
	60 歳代	28	50	20	67	40	205

県　北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県　央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿　行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県　南：土浦市、石岡市、龍ケ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県　西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

（注）

1．「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。

2．割合を百分率で表示する場合は、小数点第 2 位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。

3．図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

4．男性 18～29 歳の回収件数は、「県央」「鹿行」「県南」「県西」の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性 30 歳代で「県央」5 サンプル、「鹿行」8 サンプル、「県南」10 サンプル、「県西」7 サンプルを超過回収、男性 40 歳代で「鹿行」1 サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。